

現代的な諸課題につながる歴史的な状況（例） （学習内容の焦点化）

<a自由と制限><b富裕と貧困><c対立と協調>
<d統合と分化><e開発と保全> など

●歴史学習の扉～歴史をなぜ学ぶか、どう学ぶか～（例：近世の日本・アジアを事例に）

18世紀後半 ～（現在）

・産業社会と国民国家を形成する方向に社会が変化した。

●近代化はどのような動きか？

<〔比較〕を中心に、〔因果〕〔相互作用〕にも着目する>

〔単元〕

・産業社会の到来、政治の変革
・日本の改革、アジア・アフリカの変容
など

〔考察を深める問い〕（例）a, bなどから

・工業化と政治変革は何をもたらしたか
・日本、アジア・アフリカはどのように変化したか
（まとめ）社会の近代化は何をもたらしたか など

19世紀後半 ～（現在）

・大衆が社会全体の在り方を規定するようになりはじめた。

●なぜ社会の大衆化が進み、それは人々の暮らしをどう変えてきたか？

<〔因果〕を中心に、〔比較〕〔相互作用〕にも着目する>

〔単元〕

・大衆社会の形成
・政治と世論
・国際紛争と国際協調 など

〔考察を深める問い〕（例）a～cなどから

・なぜ政治参加と文化活動が拡大したか
・人々の暮らしと政治がどのように結びついたか
・世界大戦・冷戦に人々はどのように対処したか
（まとめ）社会の大衆化は何をもたらしたか など

20世紀後半 ～現在

・人・モノ・カネ・情報等が国境を越えて一層流動するようになった。

●グローバル化は私たちに何をもたらしているか？

<〔相互作用〕を中心に、〔比較〕〔因果〕にも着目する>

〔単元〕

・多極化と地域統合
・地域紛争と国際秩序
・グローバル化する国際社会
（持続可能な社会への展望） など

〔考察を深める問い〕（例）a～eのいくつかから

・冷戦構造の変化は何をもたらしたか。
・冷戦終結後も、なぜ地域紛争は続くのか。
（まとめ）現代的な諸課題にどのように取り組んでいるか、あなたはどのような世界・日本を求めるかなど

取り上げることが考えられる題材

産業革命、市民革命、近代科学、立憲政治、資本主義・社会主義、明治維新、政党政治、国民国家、消費社会、国民文化、マスコミュニケーション、移民、帝国主義、総力戦、植民地、世界恐慌、ファシズム、冷戦、地域紛争、地域統合、民族主義、難民、高度経済成長、多国籍企業、市場経済...など

「歴史総合（仮称）」の学び方（例）

○歴史的な見方や考え方をういて学ぶ方法

（例）

・推移や変化に着目して、
・比較して相違や共通性を明確にして、
・原因と結果を関連付けて、
・相互作用に着目して、
⇒歴史の転換の様子や変化の特色、意味を多面的・多角的に考察する

〔参考〕

・現代的な諸課題の背景にある歴史を、近現代の歴史の転換（「近代化」「大衆化」「グローバル化」）に着目して追究する。
・学習課題によって、取り上げる時期を広げて設定したり、多様な地域を取り上げたりすることで理解を深めることも考えられる。